

社会と教会
生活と信仰
平和・人権
分かち合い

No.32

共に生きる

聖家族有志会報

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 /瀬下幸弘 FAX093-622-1290

みなづき
水無月
6
2013

近づく軍靴の音

自民党改憲案をみる

- ・天皇を戴く国家
天皇を元首

これでは国民主権ではなく天皇を中心とした国家体制です。

- ・国防軍を保持

これが最大の問題。戦力を保持しないとした現憲法を変え、海外でも武力行使できる国となります。

- ・97条（国民の基本的
人権）は全面削除

現憲法が基本的人権を保障するからこそ最高法規と言われます。これを全て削除したことは「法律ノ範囲内ニ於テ」のみの人権で、これでは明治憲法に逆もどりです。

このままでよいのでしょうか。
2pに祈りと学びの案内を掲載

5月の平尾台 ひばりの鳴き声楽しや



お知らせ

- ◆6月2日(日) 正義と平和全国集会実行委員会
(大名町) …15時
- ◆6月9日(日) 北九州母親大会 全体会若松市民会館…13時
- ◆6月11日(火) イチイチ祈りの会 修道院 …19時
- ◆6月8日(土) 教区信徒協研修会準備(大名町) …13時
- ◆6月9日(日) 英語ミサと交流会(黒崎) …15時
- ◆6月10日(月) 社会福音部会(アドラック) …19時
- ◆6月16日(日) 憲法改正問題を学ぶ(小倉) …14時
13時30分から開場です。
- ◆6月22日(土) キリスト者九条(西南KCC) …14時
- ◆6月23日(日) 虹の会(黒崎) ミサ後～

傘アクションを全国に 広げたい

小倉駅前で傘をさして立ち並ぶ



これまで3回にわたり「カラフルな傘をさして」という活動に取組んでいます。静かなアクションですが、道行く人達に見て読んでもらうと、その危険性を理解してもらう。その結果、「憲法を守るのは国で、守らせるのは私ではありません」というメッセージが伝わるのです。この活動は、これまで3回にわたり「カラフルな傘をさして」という活動に取組んでいます。静かなアクションですが、道行く人達に見て読んでもらうと、その危険性を理解してもらう。その結果、「憲法を守るのは国で、守らせるのは私ではありません」というメッセージが伝わるのです。

「國民主権の平和憲法が國民を縛るものに変わるかも知れない」：国防軍保持や社会的儀礼なら国は宗教活動ができるなど、戦前を思わせる改憲案を出した自民党。その危険性を道行く人たちに知つてもらおうとキリスト者九条の会「四人娘」のみなさんが発案したのが「傘アクション」です。



ときのことば

憲法の役割の核心は政府のできること、できないことを定めて、その行動を縛ることにある。

(長谷部泰男 憲法学者)

援助修道会 修道院より

6月11日：イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後7時から。
どなたでもお出でください。

キリスト者
九条の会 改憲問題をユニークに街頭宣伝

今、憲法が危ない

改憲という重大な問題がさし迫っています。

政府は96条を変えることで、改憲のハードルを下げ、9条や20条(信教の自由と政教分離)そして基本的人権までも変えようとしています。



講 師
木 村 公 一
牧師

このままでいいの? 私たちの選択は?

主 催

憲法改正問題と共に
考え祈るキリスト者の会

とき 6月16日(日)

開場/13時30分

開会/14時-16時半

ところ

カトリック
小倉教会

資料代

1人 500円

どなたでもご参加下さい。

谷 大二司教(日本カトリック正義と平和協議会会长)からの呼びかけ



憲法が危ない! 自民党が中心になって推し進めようとしている改憲は日本の社会構造を根底から覆すものです。それは、憲法の基本精神である平和主義、国民主権、基本的人権を蹴散らし、軍国主義を復活させるものです。

私たちは連帯の輪を広げ、現憲法の基本精神を守るために行動しましょう。もう待っている時間はありません。いますぐに、私たちは声をあげましょう。私たちの声は神への祈り、叫びです。もっともっと、大きな声で、神と善意ある人々に訴えかけていきましょう。



松浦悟郎司教
呼びかけ人

5月28日に
遠方のシスター
から手紙をいただ
きました。



先日はポスター・チラシ等有難うございました。本当に大事なことで、一人でも多くの人たちに考えてほしいと思います。私たちは本当に真剣に取り組まねばなりませんね。私もなるべく北九州に住む卒業生に送って呼びかけてもらうつもりです。先ずは祈りながら…修道会へも勧めの電話をかけてみようと思います。皆様のご努力に感謝しつつ…

分かち合のひととき

虹の会

4月28日 14名参加

中島みゆきさんの歌
「愛だけを残せ」を聞いて分かち合いました

今回は「虹の会」の仲間が分かち合いの資料を提供してくださいました。

その方から感想をいただきました。

・それぞれが、心に響いたフレーズや感じたことを伝えあいました。

・歌詞の中に福音と重なる部分が多くあり、感動を分かち合うことが出来、素晴らしい時間を過ごせました。

6月は23日ミサ後に分かち合いを予定しています。
どなたでもご参加ください。

北九州信徒協

2013年北九州平和の集いは8月11日

テーマ

“平和への努力は時のしるし”



講 師
後藤正史神父
広島教区幟町教会主任
「国是と信仰」

実行委員長は、初の女性
大矢由佳子さん(小倉教会)です。

福岡教区信徒協

日本カトリック正義と平和全国集会

2014年は福岡教区が主催となり
開かれます。

好評。「病めるときも」

3月、4月号でお知らせしました
小冊子「病めるときも」を再
度編集部にストックしております。
ご希望の方はFAXして下さい。
病にある方へのプレゼントなど
にご利用ください。



岩手県・大船渡ベースと仙台教区外国人 支援センターでの8日間ボランティア体験

有吉 和子 (5)

(11月21日)

今日は初めてベース内でのボランティアです。
「お茶っこ」といって、ベースを訪れた地域の方と
お茶を飲みながらお話をします。お話をすると
いうより、聴く(傾聴)時間です。

10時半頃85歳の老紳士が来られました。その方
は仮設生活をしながら、洋服生地のはぎれでふく
ろうのブローチを作り、ベースを通して希望者に
販売しています。その納品に来られました。若い
ころは紳士服の仕立て屋として活躍されていたと
いうことです。震災前は入退院を繰り返す生活を
されていました。そして、3月11日退院後30分で
津波の被害にありました。体調も完全でない中、
杖をつきながら必死で丘の上の保育園までたどり
着きました。避難所での不自由な生活が続き、体
重は25キロも減ったそうです。「自死まで考えた。」
とそのときの辛い日々を涙ながらに話してくれま
した。私は、その方が、入退院を繰り返し2年前
他界した自分の父の姿と重なり涙をこらえること
が出来ませんでした。

「よく生きていてくれました。」と思わず口から
出てしまいました。

今は、仮設住宅で奥様を老老介護しながら、「皆
さんが喜んでくれるなら・・・。」と楽しくふくろ
うのブローチ作りを続けているそうです。お昼前
になって、その方は杖をつきながら丘の上にある
仮設住宅に帰っていました。その優しい笑顔
が今でも目に浮かびます。後になって、おじいさ



んの話に自分を保つことが出来ず、涙してしまっ
たことに私は落ち込んでいました。そのとき、ベ
ースのスタッフの方が、「あのおじいさん、今ま
で人前で涙を見せたこと無かったんだよ。きっと共
に寄り添ってくれたと感じたんだと思うよ。良か
ったと思うよ。」と話してくれました。それを聞
いて、私は自分が癒されたような思いがしました。
そして嬉しかったです。この小さな私を使ってく
れたように感じ、神様に感謝しました。午後から
は、在宅支援です。寝たきりや、身体の不自由な
方の家4件に介護おむつや支援物資を届けました。
そして、介護をするおばあちゃんや、親の介護を
続けているご婦人の話を聴きました。

短い交流の時間でしたが、明るく前向きな姿に
教えられる事が多かったです。

今日も色々な出会いがありました。一人ひとり
の方を通して、そこに寄り添う神様の愛に触れる
ことが出来たような1日でした。感謝のうちに。
(つづく)

戦時下のくらしと憲法9条



石井 方子さん
八幡東区在住 (6) 最終回

そして8月15日終戦の放送をラジオで聞きました。雑音が多くて分かったのは「耐えがたきを耐え忍びがたきをしのんで」という言葉だけでした。傍で一緒に聞いた海軍の若い将校が「戦争は負けた。もう終わつた」と淡々と教えてくれました。外に出ると暑い日差しの中でトウモロコシの葉が光っていました。夢のような不思議な信じられない光景でした。涙なんか出ませんでした。戦争に負けるということはみんなが死ぬことだと思つていましたので、いつもと同じに時が過ぎるのが信じられない思いでした。でもすぐ、家へ帰れると思いました。翌日の造兵廠はまさに無警察状態で倉庫からいろいろのものを持ち出して持つて帰る人でごつた返しでした。陸軍の直轄ですから指揮系統が一瞬で崩壊したのでしょうか。情けない風景が心に刻まれました。私たちの動員は解除されました。

8月20日、日田を引き上げました。久留米駅は空襲によつて焼かれ、鉄道の復旧がまだ汽車を下ろされて筑後川の鉄橋を荷物を抱えて徒步で渡りました。はるか下に流れる川が、枕木の間から見えて怖い思いをしました。鳥栖まで歩きました。折尾を過ぎると一面の焼け跡に息

をのみ、八幡駅に着いたら電車は不通で、再び重い荷物を抱えて家まで暑い中歩かなければなりませんでした。家に着いたら父母とお手伝い一人だけ、兄妹は、進駐してくるというにアメリカ軍を避けて河内の奥まで逃げていませんでした。進駐軍が来るとひどい目に合うと触れ回つたのは中国などからの退役軍人だつたとアメリカ軍があとで言いました。

あかりを遮蔽していたカーテンを取り外し、何年ぶりかで赤々と電燈をつけました。寝巻を着てねました。戦争が終わつたことを実感しました。学校までリヤカーを引いて荷物を取りに行つたら校庭で火が燃えていました。

東條文庫と誇らしげに立派な額を付けて、書棚にギッシリ並べられていたわが女学校の卒業生、東條英機の妻勝子より贈られた書籍、何かにつけてそれを誇らしく指差していた先生達が炎のなかにその本を放り込んで燃えやしていました。また嫌な風景を見ました。

ふたたび戦争は終わつたと思いました。

でも戦争が終わつた、平和になつてよかつたのですが、以前と変わらない暮らしは戻つてきました。瓦礫の中の国を生活を復興しなければなりません。インフラは壊滅状態、荒廃した農村。



大月書店「子どもたちの昭和史73p」

瓦礫となつた工場、住む家もなく働く工場もなくそのうえボロボロになつた数百万の兵士や外地にいた何一つ持たない開拓団などの人たちが一気に帰還してきたのです。國も國民も極限の困窮でした。インフレは200倍300倍になりました。今でいうと3000万の貯金が一気に10万になつてしまつたのです。すべて復興のためとしてあらゆる名目で課せられた重税、追い打ちするインフレ、私の家は貧乏になつて税金の支払いのために、いろいろなものを売らなければなりませんでした。さらに戦時中をはるかにしのぐ食糧難でした。しかし、暗く心が波立つ戦争中の思い出に比べて、なぜか気持ちが明るかつたは、これからは戦争はなくなつたということと民主主義になつたということが、戦後の苦難を希望をもつて耐えさせたからだと思います。私は単純に主権在民 恒久平和を信じていました。

昭和25年朝鮮戦争が始まりました。ものすごいショックでした。戦争による特需景気で物資が店に並び始めました。戦後の復興が進みました。日本は朝鮮への前線基地として戦争に明らかに加担していました。そしてもうけていました。憲法9条はそれから邪魔者にされるようになります。

ニュース映画は、戦火の中を荷物を抱えて逃げ惑う朝鮮の子供や女性の姿を映し、私は涙を止められませんでした。それは（次ページへ）

5年前の私たちの姿でした。戦争の悪夢がよみがえりました。戦争のこと、平和のこと、憲法のことを真剣に考えるようになつたのはその時からです。いろいろなことが見えてきました。公職追放された戦争による惨禍に重い責任のある人たちが再び政界や官界に返り咲きました。警察予備隊という軍隊ができました。思想信条の自由を信じていたのにレッドページが始まり、共産党は非合法になりました。生活は少し良くなつたけど、もう私は明るい私ではなくなりました。その頃「きけわだつみのこえ」という映画が封切られました。ビルマインパール作戦に参加し飢えと疲労にさいなまれながら敗走に敗走し続け死んでゆく学徒兵の絶望と悲惨を痛烈に抉った作品です。最後のシーンはその絶望の中で亡くなつたたくさんの兵士たちが、ビルマのあちこちからたちあがつて祖国を目指して海の中を歩いてくる姿でした。もう戦争をしてはならない。私を見てくれ、と訴えるためにこの人たちの魂は日本に向かつていていました。亡くなつた人に申し訳ないと痛切に思い、絶対に二度と戦争をする国にしてはならないと心に誓いました。

何度も何度も日本のありように絶望しながら、9条の会にたどり着きました。（おわり）

連載しました「戦時下の暮らしと憲法9条」について、「石井さんがよく覚えておられ、当時のことを思い出しました」など多くの声が編集部に届きました。

日本漫画家協会
日本漫画家会議

西山 遼 さんが



ニュースありがとうございまし
た。いよいよこの夏が日本の
将来を決めることになりそう
です。人気ヒット曲「君くらまし」
を聴けていますが、フンドシを
してかかりまくよう

で
け
は
が
き
に
絵
を
書
い
て
届
け
ま
し
た。
感
謝
届

ツイッター

大声大会で2年連続の賞(幸)

5月3日の9条まつりでイベント「大声大会」があり、Uさんがみごと2年連続の入賞。平和と愛を抱きしめるポーズが審査員の注目を集めたのかもしれませんね。

ちなみに、大声大会なのにマイクを持ったまましゃべり終えたMさんに、審査員全員ガクっと…。ユーモア賞はMさんのものに。



原発廃止したら電気料が上がる？(中)

再生可能エネルギーがよいことはわかるでしょう。しかし経済負担が消費者にかかるべきです。では原発を稼動せず、火力発電をし、コスト高にならず、CO2をあまり排出しないクリーンな方法はあるでしょうか。はい、あります。現代技術の最高峰としてはガスコンバインド発電(GTCC)です。85

はじめての五島 (藤本エイ子小野田市)

五島に行ってきました。折島出身の山田さんに幾つかの教会を案内して頂きました。どの教会も温かい雰囲気で信徒さんの信仰の深さと地域のかかわりの強さを感じました。島を離れる前に大曾教会のミサに信徒でない私も参列する事ができました。老若男女の信徒さん達でいっぱい、ご婦人のペールと子どもたちのお祈りの可愛い声が印象的でした。ミサが終わり、ご挨拶をした女性が、10分後にふくれまんじゅうをわざわざ届けて下さったのには感激しました。早速船中でおいしく頂きました。



「従軍慰安婦必要」橋下発言はゼッタイゆるせない(旬)

カトリック信者のみなさん、どう感じていますか。「赦しましょう」って言ったら絶対ダメです。もう腹が立って腹が立って。こんな人を選挙で選び、こんな人が維新の会の代表で、こんな人をかばう人たちがいる。なぜこんな日本になってしまったのでしょうか。女性の人権も尊厳も傷付けられ、半死半傷にさせられた人を黙って見過ごしたまま“祈りの世界”に入り込む人になつてはダメだと思いました。“ゼッタイ赦せない”って声をあげます。

初めて長門峡にいきました (みな)

山口市内から津和野方面へ25分位で着きます。長門峡入口を横目に長年素通りし、今春初めて歩きました。奥へ奥へと5Km以上歩いたその先の竜宮淵が長門峡の終点。そこにはバス停がありました。写真は途中の紅葉橋上で手を振る私です。



一人でも多くの方に参加して欲しい

「ハンセン病国立療養所訪問」

日中友好協会八幡支部副支部長

安永 亮（税理士）

いのち・人権・平和

スコミによつて意図的に一人ひとりの国民の意識の中に持ち込まれているということはないでしょうか？

四月二十九日、私は初めて菊池恵楓園を訪れました。

八幡西革新懇の世話人であるカトリック九条の会の瀬下さんに今年で十二回目となる訪問活動に誘われたからです。

彼は、「毎年訪問して、人権を考える原点の場所ですよ」と私に話されていました。

園では、国賠訴訟支援組織の事務局長だった北岡さんがスライドを使って、ハンセン病問題の真の本質についてわかりやすく説明されました。また、五十七年間園で生活している阿部さんが園を案内し、自分の思いを語られました。

私は、ハンセン病問題は患者を治療のために隔離した政府の医療政策の結果、長年にわたつて差別と偏見に苦しんできた問題というくらいの認識でした。しかし、問題の本質は、全く違っていました。

ハンセン病患者の方々は、日本に存在していってはならない人間として、その存在そのものが政府によつて抹殺されたというのが事の本質でした。それは、日本が日清、日露の戦争に勝つて武力だけでなく、「文明国」としても面目を取り繕うために必要な政策として実行されたのでした。

「無らい県運動」という言葉も初めて耳にしました。国民同士を競わせ、相互に監視させたのでした。「民族浄化の為に」と差別と選別の意識を政府が扇動して国民に植え付けていったのでした。翻つて、現在はどうでしょう。差別と選別の意識が、政府やマ

軍隊を持たず戦争をしない平和な国で、平等に誰もが健康で文化的な

意識とする動きが顕著になつてゐるのではないでしょうか？

今はその矢面に生活保護受給者などの生活困窮者、あるいは基地を押し付けられている沖縄県民が立たされているのではないでしょうか？私は、二十世紀の誤りを二十一世紀に再び繰り返してはならないと思います。政府やマスコミによつて日常的に知らず知らずのうちに差別や選別の意識が植え付けられ、特定の人間の権利を否定し軍拡や戦争を肯定する雰囲気が作られていくことがとても恐ろしいと感じました。

一人でも多くの方に参加して欲しい訪問活動でした。



やすらぎ総合会館には、各宗派の祭壇が隣り合わせに並んでいます。

編集後記

憲法記念日の琉球新報社説から。「沖縄にも3原則適用を」と題し「自民党はまず96条を改定し、…本丸の9条改変に手を付けようというのだろうが、姑息(こそく)にすぎる。作家の保阪正康氏が指摘するように、『勝てないから野球のルールを変えようというのは論外』」と批判し「自民の改憲草案は…平和主義は継承すると主張するが、『武力行使』は外した。…地域紛争的な『小さな戦争』は可能、という意味ではないのか。」と食い下がり「押し付け憲法」というのなら沖縄には「平和主義はもちろん『国民主権』も『基本的人権の尊重』も適応されていない。まず現憲法の3原則を沖縄にもきちんと適応してもらいたい」と結んでいます。実際にみごとな社説でした。(瀬下)

園内には真宗報恩会、日蓮宗報告会、天理教道友会、カトリック暁星会、キリスト教黎明教会、日蓮正宗創価学会などの宗教があります。恵楓園は設立当初から、患者に精神上の慰安を与え少くさせるために、宗教を園内統治の手段として利用していたのです。施設の存在こそ「療養所」ではなく「終生隔離施設」であつたことを無言のうちに語っています。